



今日のテーマ



インドの経済構造改革

Q モディノミクス注目テーマの進捗は？

A 上下院のねじれにより、足元で税制改革・規制緩和に足踏みが見られます。地方でのモディノミクス浸透が、今後の改革進展のカギになりそうです。

■今年7月から8月にかけて、国会審議のこう着から税制改革や規制緩和が滞りました。与党インド人民党（BJP）が上院で少数にとどまるため、改革に必要な法改正は難航する例が目立ちます。

■上院の議席は州議会議員による間接選挙で決まるため、モディ政権は州政府の財源・権限拡大に配慮するなど、地方での支持拡大を図っています。10月から11月にビハール州で議会選挙が予定されており、上院での党勢拡大につながるか注目されます。

【モディノミクス注目テーマと進捗状況】

政策テーマ	政策	期待される効果	政策の進捗状況	
キャッシュレス 経済化	金融サービス利用の普及	・経済の効率化 ・地下経済の規模縮小 ・税収の拡大	○	2015年8月 インド準備銀行（中央銀行、RBI）が、「決済銀行（ペイメントバンク）」11行を認可
投資促進	民間企業（外国企業も含む）の参入規制を緩和	・インフラや工場建設など投資の活性化 ・民間企業の参入による競争促進 ・外国企業など民間のノウハウの導入	○	2014年8月 防衛関連企業における外国企業が取得できる株式比率を26%から49%に引き上げ
			○	2015年2月 鉱山開発事業に民間の参入を認め、公開入札を開始
			○	2015年3月 保険会社における外国企業が取得できる株式比率を26%から49%に引き上げる法案成立
税制改革・規制緩和	物品・サービス税（GST）の導入	複雑な間接税を整理統合することによる、企業活動の効率化や外国企業の投資促進	×	2015年9月現在 野党の反対で上院で法案審議ができず、予定の2016年4月の導入が危ぶまれる
	土地収用法の改正	土地買収の円滑化を通じてインフラ整備や工場建設などを促進	×	2015年9月現在 法改正による恒久的、全国的な規制緩和は目途が立たない状況。州単位での規制緩和が一部で進行。
国と州政府との連携強化	州政府の財源・権限の拡大	地方ごとのニーズに応じた開発の推進	○	2015年2月 政府は、国家財源からの地方交付税の比率を32%から42%に引き上げる答申を受け入れ

(注) 2015年9月7日時点。

(出所) 各種資料を基に三井住友アセットマネジメント作成

地方でのモディノミクスへの支持拡大を狙う

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。